

令和7年度の事業報告及び反省と令和8年度活動計画案

1 活動のねらい

会員相互の情報の共有化を図るとともに、現場で直面している課題の解決に役立つ広報誌の作成に努める。

2 令和7年度の成果と課題

(1) 成果

- 「学校長会広報」第262号～第264号の発行。
 - ・ 学校長会の第4期中期教育ビジョン並びに活動方針、事業等の周知及び会員相互の連帯感の高揚のための情報交換の場となった。
 - ・ 特集、特別寄稿等を通して、各学校の取組や市町村教育委員会との連携について紹介するとともに、各専門委員会の活動状況並びにブロック研修会等の状況を掲載し、情報の共有化を推進できた。
 - ・ 「ひばり」「梅のかおり」欄を通して、現職校長と先輩校長、会員等相互の情報交換ができた。
 - ・ 入校・再校を幹事会としたことで、委員の負担軽減を図った。
 - ・ 校正作業に支障が出ないように、小委員会全員の参加としたことで、学校行事等での急な欠席にも対応できた。
 - ・ 初校は、参集、または、グーグルドライブを活用したコメントの書き込みによる共有のどちらかを選択して行うことができるように改善した。これにより、遠方から参集することなく負担軽減となった。

(2) 課題

- 紙面の改善
 - ・ 執筆者の意向を尊重できるように、校正において、担当者が確認していく。
 - ・ 各学校の良さをしっかりと伝え、現場に役立つ誌面づくりを進める。
- 執筆分担ローテーションの見直し
 - ・ 執筆分担が公平に進むように今後の執筆分担ローテーションを偏りのないようにつくっていく。
- 見通しのある原稿依頼
 - ・ ブロック研修や小中学校長研究協議会等、具体的な内容や成果、課題などについて事前に原稿依頼をする。
- 新年度号（265号）の原稿依頼
 - ・ 5月中旬に開催される小委員会を待たずに原稿依頼を行っている。次年度も今年度同様の日程になることを想定し、可能な範囲で小委員会を待たずに原稿依頼を進めていきたい。

3 令和8年度活動計画案

- (1) 第265号の発行 7月中旬
 - ・ 主な内容 新会員紹介、各部・各委員会の構想、活動目標及び「第5期中期教育ビジョン」等
 - ・ 小委員会 5月下旬（組織作り、年間計画）、6月中旬（初校）
 - ・ 幹事会 6月初旬（入稿）、6月下旬（再校）
- (2) 第266号の発行 11月上旬
 - ・ 主な内容 特色ある学校経営、各委員会の要望・取組など
 - ・ 小委員会 7月中旬（265号発行・266号編集）、10月上旬（初校）
 - ・ 幹事会 9月下旬（入稿）、10月下旬（再校）
- (3) 第267号の発行 2月下旬
 - ・ 主な内容 各種調査結果の掲載、全連小・全日中・各ブロック研修会、新年度への展望など
 - ・ 小委員会 11月上旬（266号発行・267号編集）、1月中旬（初校）、2月下旬（発行）
 - ・ 幹事会 1月上旬（入稿）、2月上旬（再校）